PA（プロジェクト・アドベンチャー）試してみませんか？

令和６年４月
わんパーク大館（自然の家）

▲「ウブンツ」 笑顔で またね！

▲「ビート」 いち、にっ！息を合わせて！

Ｑ１．ＰＡって何？

人間関係を築く上で大切な「信頼する心」の育成や「未知のことに取り組むチャレンジ精神」を高めることをねらって組織的に行う体験活動の手法のことです。

具体的には、カードを使った簡単なゲーム的活動から、心身両面が試されるややハードな挑戦まで、その活動メニューは様々です。「ビーイング」と呼ばれる振り返り・話合いの時間をもつことにより、さらに効果の高まりが期待できます。

Ｑ２．ＰＡで何が期待できるの？

実際に子どもたちにＰＡを体験させた先生方の声です。

（１）ＰＡ体験中に

・ＰＡを通じて、それまで気付かなかった子どもたちの意外な一面（優しさ、リーダーシップ等）を知ることができた。
・活動する中で、集団が和やかな雰囲気になった。
・子どもたちが自ら、互いに声をかけたり、励ましたりできるようになった。
・誰一人あきらめず、粘り強く頑張り続ける体験ができた。
・活動が分かりやすく、子どもたちが達成感を味わうことができた。
・ＰＡにより、学校間の関わりを深めることができた。
・仲間づくりや連帯感を生むプログラムでよかった。

（２）ＰＡ体験後の日常生活で

・ＰＡ体験後の様々な活動の中で、ＰＡ体験時のことを児童に問いかけることによって、行動を変えようとする態度が見られるようになった。
・普段は遠慮することが多い児童が、自分の意見を伝える場面が見られるようになってきた。
・成功体験を共有したことで、係や委員会活動でも協力して活動する児童が多くなった。
・アンケート調査結果から交友関係の広がりが見られ、自己肯定感の高まりも顕著であった。
・ＰＡを体験した時間で終わりではなく、ＰＡで学んだ子どもたちのよさを継続させる工夫が必要である。

Ｑ３．ＰＡのゲームには、どんなものがあるの？

①アクティビティ：道具を使用しません。（簡単な道具を使用する場合有り）

〈例〉「ビ ー ト」２人組でリズムと呼吸を合わせて手の平を合わせていきます。失敗してもなぜか笑い合えるゲームです。

「ウブンツ」複数の物が描かれている絵カードを見せ合い、同じものを早く見つけた人がそのカードをもらえます。

②エ レ メ ン ト：大がかりな器具を使用します。

〈例〉「川 渡 り」ターザンロープで向かい側に設置した木の台に着地。メンバー全員が台に立っていられたらミッションクリア。

「シーソー」シーソー状になっている１枚の板がどちらかに「ガタン！」とならないように全員が乗り込みます。

大まかに①と②に分けられます。自然の家で活動する場合は、エレメントも体験できます。ＰＡを行う際は、以下の３つの理念のもとに行います。

Ａ「チャレンジバイチョイス」
関わりのタイミングや度合いは本人の意思によるものとする。

Ｂ「フルバリューコントラクト」
互いを最大限に尊重し合うための約束を共有する。

Ｃ「体験学習サイクル」
〈体験→振り返り→気付き→活用〉という学びを得る過程を大事にする。

▲「ビート」 ４人組でもできるかな？

▲「ウブンツ」 せーの！同じ絵はどこかな？

▲「シーソー」 揺れるよ！ゆっくり

▲「川渡り」 行くよーっ！落ちないで！

Ｑ４．ＰＡはどのように利用したらいいの？

（１）自然の家での活動プログラムとして

宿泊体験学習で自然の家に来所している団体には、１泊２日のスケジュールの中で、２～３時間のＰＡを実施することが定着してきています。野外のエレメントを使ったダイナミックな活動もできるところが魅力です。

また、学級や学年単位で来所し、日帰りでＰＡ体験を利用する小・中学校の団体も増えています。

（２）出前講座：児童生徒を対象にＰＡ教室として

エレメントの利用はできませんが、学校の体育館等を会場にした、アクティビティ中心の活動でもＰＡの効果は充分期待できます。年度初めの学級開きや学級目標の設定時、長期休業明け、中学校体験入学等、集団が変化を迎えるタイミングでの利用は勿論のこと、日常の学級づくりにも有効です。

所要時間は２時間程度が理想ですが、４５分程度の短時間にも対応します。

（３）出前講座：教職員を対象に職員校内研修として

ＰＡは毎年の初任者研修でも実施していますが、職員の校内研修としての実施もお勧めです。ＰＡを体験しその理解を深めることで、子どもの見方や子どもへの接し方が変わり、それは、学級経営や授業づくりに役立つものと考えています。

※利用の手続きについて

出前講座として実施する場合の手続きは、電話予約と申請書・実施前アンケートの提出のみです。面倒な手続きはありません。ご利用についてのお問合せは、わんパーク大館（自然の家）指導班までお願いします。

▲「パラシュート」 できた！何に見える？

▲「長縄くぐり」 今だ！走れー

▲「リングトゥリング」 そーっと下ろすよ

▲「ビーイング」 気付いたことをみんなで書こう

●ＰＡ利用者の感想から●

＜交流学習参加者から（中学生）＞

・初めて会う人がいっぱいいたけど、セブンイレブンやシュウマイじゃんけん等で自分から声をかけることができた。給食を食べた後の振り返りでは、自分から話しかけることや、協力することの大切さを知ることができたので、これからそれを生かせるようにしたい。

＜小・中学校初任者研修参加者から＞

・全員が活動に参加し、活動を通して他者と関わり合い、ゴールを目指していく、底に「誰も見捨てない」「協調性」という性質があると感じた。
・動きながらいろいろなことを行う中で、そこから大切なことを自然な流れの中で学べるのではないかと思った。
・体験を通して、集団内の信頼関係を深めることということを身をもって感じることができた。
・個人・集団としての成長の機会としてとても有効であると感じた。子どもたちが自分で考えて行動し成功体験を得ることで自己有用感をもてたり、ビーイングの活動を通して集団として大切なことに気付けるなど今までにない発見があった。

＜企業新入社員研修参加者から＞

・みんなの意見を取り入れつつ、自分の意見をいつもよりたくさん出すことができた。お互いをサポートしながらミッションをクリアすることができた。ＰＡは見た目は楽しいゲームですが、中身は仕事をする上でとても大切なことを学べるものだと思った。

わんパーク大館 主催事業「夏のアドベンチャー」より

初めて出会う子どもたちが参加するわんパーク大館の主催事業では、野外活動を始める前に必ずＰＡを行っています。不安だった子も、緊張していた子も、笑顔で活動をスタートできます。

＜ご利用についてのお問合せ先＞
わんパーク大館（秋田県立大館少年自然の家）指導班
【電話】0186-43-3174　【ＦＡＸ】0186-43-3175
【Ｅ-ｍａｉｌ】one-park@pref.akita.lg.jp

大館少年自然の家HP